

事例

佐渡市における有機農業の推進と連携した食育活動

新潟県佐渡市

新潟県佐渡市では、「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」や「給食を地域で支える仕組みづくり」により、有機農業に先進的に取り組んでいます。

「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」では、具体的な取組として、田んぼの生物を調査し、農家だけでなく、子供たちや都市部に居住する人々も参画して、都市との交流や環境教育を行っています。また、「生きものを育む農法」では、田んぼやその周辺に生物が生息できる環境整備の取組を行います。例えば、江の設置、魚道の整備、除草剤を使用しない畔草刈りを行っています。学校給食等で地場産の有機食材の使用を試験的に開始し、「給食を地域で支える仕組みづくり」を進めています。食に関して理解をより深めてもらうために、市長による小学校での食育の授業や、農業や環境、地域について児童が中心となり話し合う授業が行われています。

その結果、児童が有機農業で育てたお米を自由研究で調べてみたり、保護者から「販売してほしい」といった声が聞かれたりするようになりました。農家からも「地域の人にもっと知ってもらいたい」、「今まで有機農業を導入していなかったが、今後挑戦したい」という声もあり、今後の取組が期待されます。

この活動をより多くの人に知ってもらい、有機農業を通じて農家だけでなく消費者の意識を変えていくことも必要です。今後も、健康だけでなく農業や生物、環境のことにも意識した食育活動を進めていきます。



田んぼの生きもの調査の様子



食育の授業の様子

第5章

生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等